様式３(2020.08改)

作成日　令和　２年　１０月　２日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2394000067
事業所名	グループホーム新城作手の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	地域に出ると利用者にも話しかけてくだり、「少しみてるよ」と声があがって移乗移動の手伝いがあったりと、温かく受け入れてもらえています。「散歩しとるよね。いいねぇみんなで」と区長からも声が入り、農作業の人から野菜を分けてもらえる日もあります。17名が診療所を毎月1回受診しており、コロナ禍とあって「薬だけにしておこう」との医師の配慮もありますが、行けば待合室で昔話に花が咲き、利用者にとっては楽しみな場です。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	コロナ対応については厚生労働省からのメール告知を得て、東三河広域連合へ問い合わせたうえで、3月と5月の運営推進会議は書面開催としています。7月に終息がいったんみられ再開できたときは、出席者から「大変だけど頑張りましょう」とエールが贈られましたが、9月も書面開催に至り、メンバー総意でコロナ終息を待っています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	行政からはコロナ支援としてマスク50枚が2回届き、次亜塩素酸水の無料配布が定期的にあります。新城市並びに地域包括支援センターの窓口訪問に今のところ制限はありませんが、事業所では訪問を控える配慮をしています。コロナ禍における運営推進会議は書面開催に置き換え、書面は新城市へ郵送しています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	もともと面会におけるコミュニケーションを以て家族との関係を充実させてきた事業所だけに、現在の状況(外での面会のため短時間)は難儀でもあり、寂しくもあります。それでも利用者本人へ「菓子を～」と寄ったり、玄関先の下草刈を申し出てくださる等家族から関わりを持っていてくださいます。また、コロナ禍特有のものとして「電話を頻繁に入れてほしい」という要望があがっており、努めて連絡を重ねています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	―	―	―	―	―	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										